



GeneXus Server X

Evolution 2

インストールガイド

2013 年 8 月改訂

ジェネクス・ジャパン株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田 2 丁目 27 番 3 号 五反田フロント

電話番号 : 03-6303-9381 FAX : 03-6303-9980

<http://www.genexus.jp>

GeneXus Japan Inc.

Copyright © 2013 GeneXus Japan Inc. All rights reserved.

本書には正確な情報を記載するように努めました。ただし、誤植や制作上の誤記がないことを保証するものではありません。なお、本書に記載されている画面はソフトウェアの更新などにより予告なく変更される場合があります。ご了承ください。

本書に記載のその他の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。GeneXus Japan Inc. は他社製品の性能または使用につきましては一切の責任を負いません。

ジェネクス・ジャパン株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田 2 丁目 27 番 3 号 五反田フロント

電話番号 : 03-6303-9381 FAX : 03-6303-9980

<http://www.genexus.jp>

目次

はじめに.....	4
システム要件.....	5
サーバー側.....	5
ソフトウェア要件	5
ハードウェア要件	6
クライアント側.....	6
ユーザー登録.....	7
アプリケーションのインストール.....	8
ライセンスのインストール.....	16
ライセンス請求.....	16
「セキュアインスタンス」を無効にした場合（既定）	16
「セキュアインスタンス」を有効にした場合.....	20
ライセンス登録.....	24
継続ライセンス請求	27
ライセンスのアンインストール.....	31
ライセンスの再発行について.....	33

はじめに

本書では、GeneXus Server X Evolution 2 のインストール手順、ユーザー登録、ライセンスの請求および登録手順について説明しています。

アプリケーションのインストールの前には、ハードウェアおよびソフトウェアの要件を確認する必要があります。また、ライセンス請求の前に注文書を弊社宛に郵送して頂く必要があります。弊社での注文書の確認前にライセンスの請求を行うと、ライセンスの発行が遅れる場合があります。なお、事前にユーザー登録された担当者以外のライセンスの請求は受け付けておりません。

GeneXus Server のライセンスの転売は禁止されております。同一のお客様および組織変更などの場合を除き、ほかのお客様に変更／譲渡することはできません。ライセンスの請求・登録の際には必ず内容を確認し、ライセンスの取り扱いには十分に注意してください。

システム要件

GeneXus Server X Evolution 2 を実行するには、サーバー側およびクライアント側で次のようなハードウェアおよびソフトウェアが必要です。

サーバー側

ソフトウェア要件

- Windows Server 2003 以上¹
- インターネット インフォメーション サービス (Internet Information Services =IIS)
- Windows Communication Foundation HTTP Activation を有効にする
 - ※ 例として Windows Server 2008 の手順を以下に示します。
 - ◇ [コントロールパネル] ->[プログラムと機能] ->[Windows の機能の有効化または無効化] ->[Microsoft .NET Framework 3.0]および [Windows Communication Foundation HTTP Activation]のチェックボックスを選択する
- GeneXus Server が IIS 6.0 にインストールされている場合、アプリケーションプールは [LocalSystem]の ID で設定する必要がある。既定の ID は[NetworkService]。
- Microsoft .NET Framework 3.5 以上
- Microsoft SQL Server 2005/2008/2012 (Express、Standard またはその他任意のエディション)。SQL Server がローカルでインストールされていない場合、SQL Server 用の再配布可能版のコンポーネントが必要。お使いのアーキテクチャに適正なコンポーネントを次からダウンロードし、インストール²してください : <http://www.microsoft.com/en-us/download/default.aspx>
- データベースユーザーは、管理者であるか [sysadmin] プロパティを有効にしておく必要がある

注意:¹ 本番環境に対しては、サーバーOS のみがサポートされています。GeneXus Server は、XP SP2、Vista または Windows 7 にインストールできますが、デモ用のみです。² Microsoft SQL Server コマンドラインユーティリティ: SQLCMD ユーティリティを使用すると、ユーザーの接続および、Transact-SQL バッチの送信、および SQL Server インスタンスから RowSet 情報の出力が可能です。bcp ユーティリティは、Microsoft SQL Server 2005 以上のインスタンスとユーザー指定フォーマットのデータファイルの間のデータをバレルコピーし、GeneXus Server の内部で使用されます。

ハードウェア要件

- プロセッサ: 1 GHz 以上 (マルチコアを推奨)
- メモリー: 1 GB 以上の RAM (2 GB を推奨)
- ハードディスク: インストールには 200 MB 以上の空き領域が必要。ナレッジベースを保存するには、追加の空き領域が必要となります。

クライアント側

GeneXus Server X Evolution 2 に接続するクライアントマシンでは次を必要とします：

- 検索目的のみ (GeneXus Server コンソール):

次のブラウザーを搭載したマシン:

- ✧ Internet Explorer 7 以上
- ✧ Firefox 3.07 以上
- ✧ Chrome 1.07 以上

- GeneXus Server サービスを介した通信用:

- ✧ Windows XP 以上
- ✧ Microsoft .NET Framework 3.5 以上
- ✧ Microsoft SQL Server Command Line Utilities

注意: GXserver との通信には HTTP 1.1 が使用されていることを確認してください。そうでない場合は、エラーが発生します。

ユーザー登録

GeneXus Japan の Web サイト内の「問題追跡システム」または「サポート」ページからユーザー登録を行います。ここで登録したユーザー名とパスワードは、ライセンス請求のほかに、「問題追跡システム」、「フォーラム」、技術者向けの文書、プラグイン、製品、およびアップデートなどをダウンロード可能な「Gxtechnical」を利用する際にも使用します。

1. GeneXus Japan の Web サイト内にある「問題追跡システム」または「サポート概要」ページにアクセスします：<http://www.genexus.com/community-and-support-jp/support-overview?ja>
2. 画面右側にある「新規登録」をクリックします。



参考：既に「GXtechnical」(www.gxtechnical.com) でユーザーアカウントを登録している場合、ユーザー登録は不要です。ライセンス請求をする際には、「GXtechnical」のユーザー名とパスワードを使用してください。

3. 次のような「ユーザー登録」画面が表示されます。「*」の付いている項目は必須です。それぞれの入力フィールドに情報を入力します。

重要：「名」、「姓」、「ユーザー名」および「パスワード」は、必ず半角英数文字で指定してください。

4. すべての項目の入力が完了したら、「**アカウント作成**」ボタンをクリックします。
5. 下図のような画面が表示されたら、「**完了**」ボタンをクリックします。

間もなく、下図のように指定したメールアドレスに「**GeneXus コミュニティ新規アカウント作成確認**」という件名のメールが届きます。



6. 「**GeneXus コミュニティ新規アカウント作成確認**」を開いて、メールの内容を確認します。下図のようにメールに記載されているリンクテキストをクリックします。



7. 既定のブラウザが開き、「新規アカウントの確認」画面が表示されます。内容を確認します。画面上のリンクテキストをクリックすると、GXtechnical のページが表示されます。



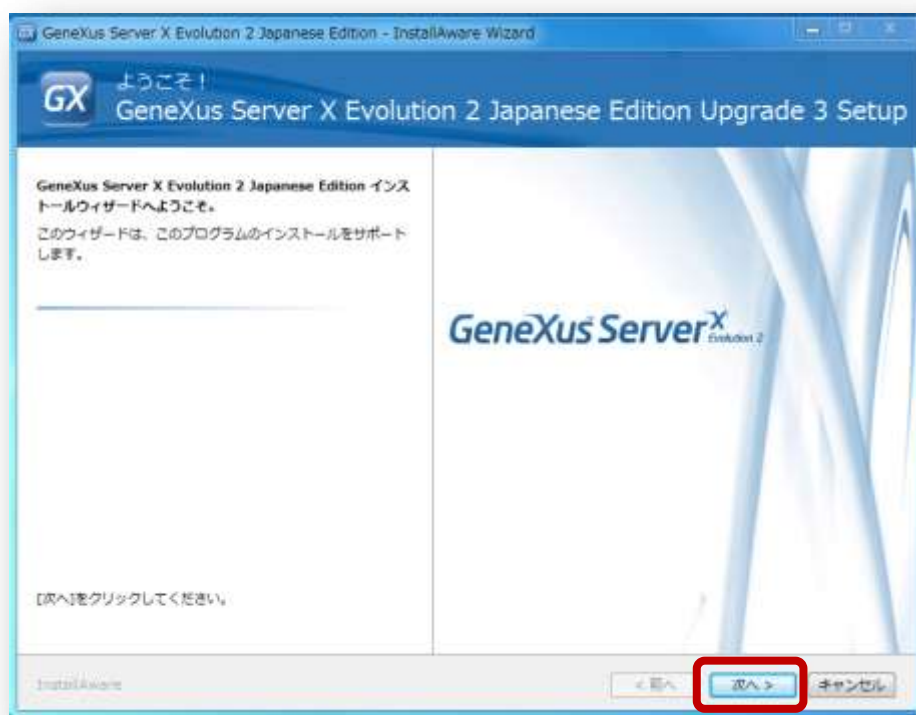
これでユーザー登録は完了です。ライセンスを請求／登録する場合は、後述の「[ライセンス請求](#)」および「[ライセンス登録](#)」の手順を参照してください。

参考：「GXtechnical」(www.gxtechnical.com) でユーザーアカウントを登録する場合、英文のユーザー登録確認メールが届きます。

アプリケーションのインストール

このセクションでは、GeneXus Server X Evolution 2 をインストールするための手順について説明します。インストールを実行するには、管理者権限が必要です。インストールの前に必ず前述の「システム要件」を参照してください。使用するコンピュータがこのセクションに記載されている要件を満たしていることを確認してから、セットアップ プログラムを実行する必要があります。

1. セットアップ プログラム(「genexusxev2server_ux_JP.exe」といった名称です) を右クリックして「**管理者として実行**」を選択します。
次のようなインストールウィザード画面が表示されます。

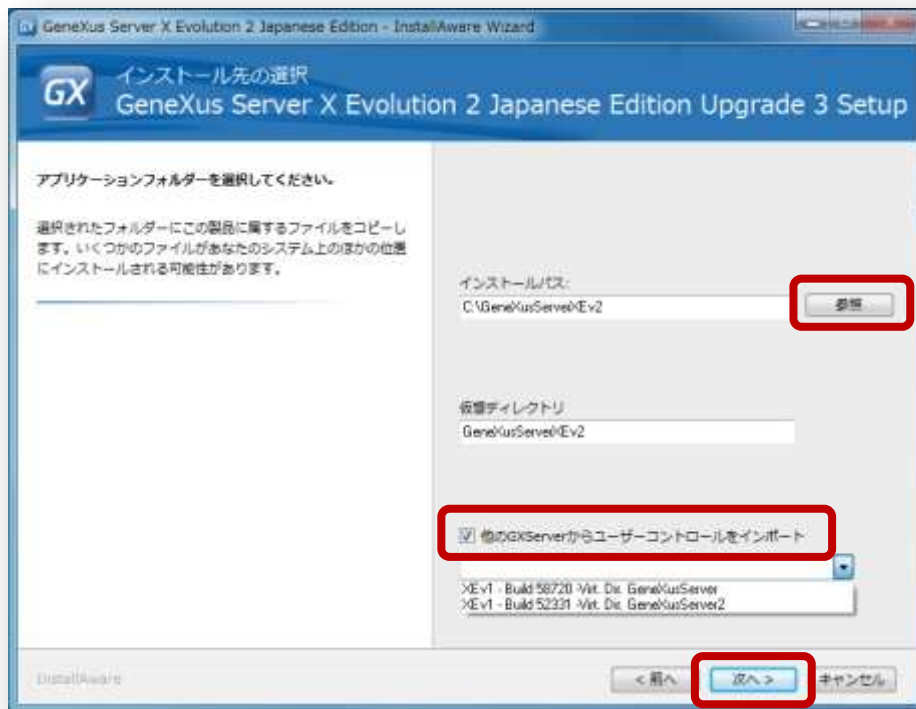


2. 「次へ」をクリックします。ライセンス使用権許諾が表示されます。
3. ライセンス使用権許諾の内容を一読し、同意する場合は、画面右下部にある「**使用許諾書の条項に同意します。**」のチェックボックスを選択します。

使用許諾に同意すると、「次へ」のボタンが選択可能になります。

4. 「次へ」をクリックします。情報登録画面が表示されます。
5. 「名前」フィールドに管理者の名前を入力し、「会社名」フィールドに会社名を入力します。

6. 「次へ」をクリックします。インストール先の選択画面が表示されます。



7. 「インストールパス」と「仮想ディレクトリ」を指定します。「インストールパス」の右側にある「参照」ボタンをクリックして、任意の場所を指定することができます。
8. 「他の GXserver からユーザーコントロールをインポート」のチェックボックスを選択すると、任意の GXserver にインストールされているユーザーコントロールをインポートすることができます。

9. 「次へ」をクリックします。セキュリティ設定の構成画面が表示されます。

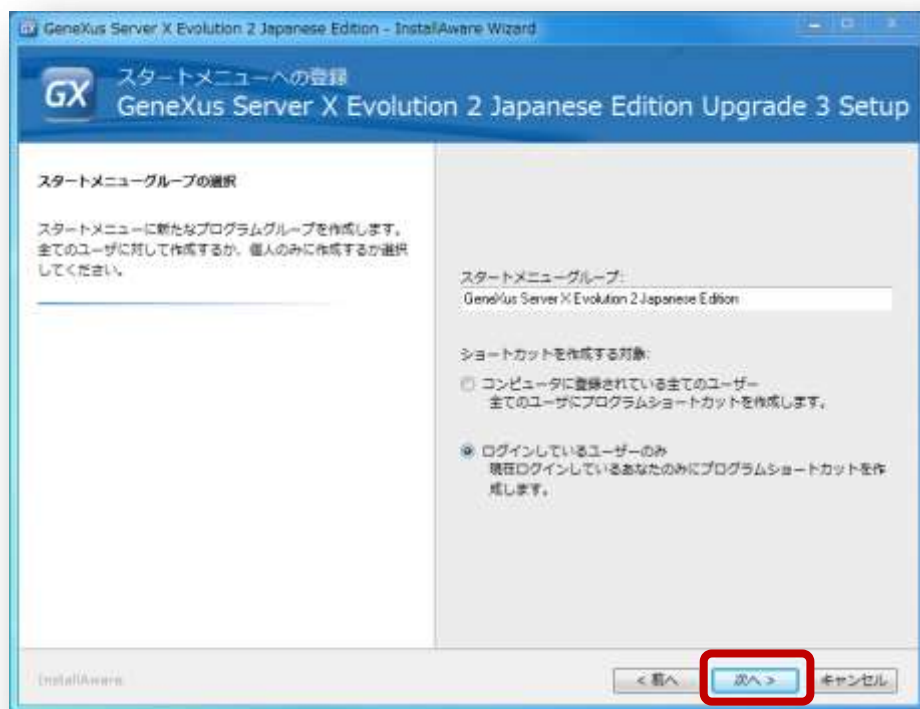


10. 「サーバーログイン時の認証設定」で GeneXus Server に接続する際に認証を要求するかどうかを設定します。

参考: GeneXus Server は、既定ではセキュリティ設定をオフにしてインストールされます（「設定しません」が選択されています）。セキュリティを有効にするには、インストールウィザードで「設定します」のチェックボックスをクリックしてください。また、セキュリティを使用する場合は、SSL 認証をインストールして Web サーバーの HTTP を有効にする必要があります。

重要: サーバーが既に HTTPS で作動している場合は、設定に追加変更は不要です。ただし、たとえセキュリティ保護された GeneXus Server を使用できる場合でも、前もって HTTP のテストを実行する必要があります。ローカルにインストールされた GeneXus Server では、メインページの URL は <http://localhost/GeneXusServer/main.aspx> です。

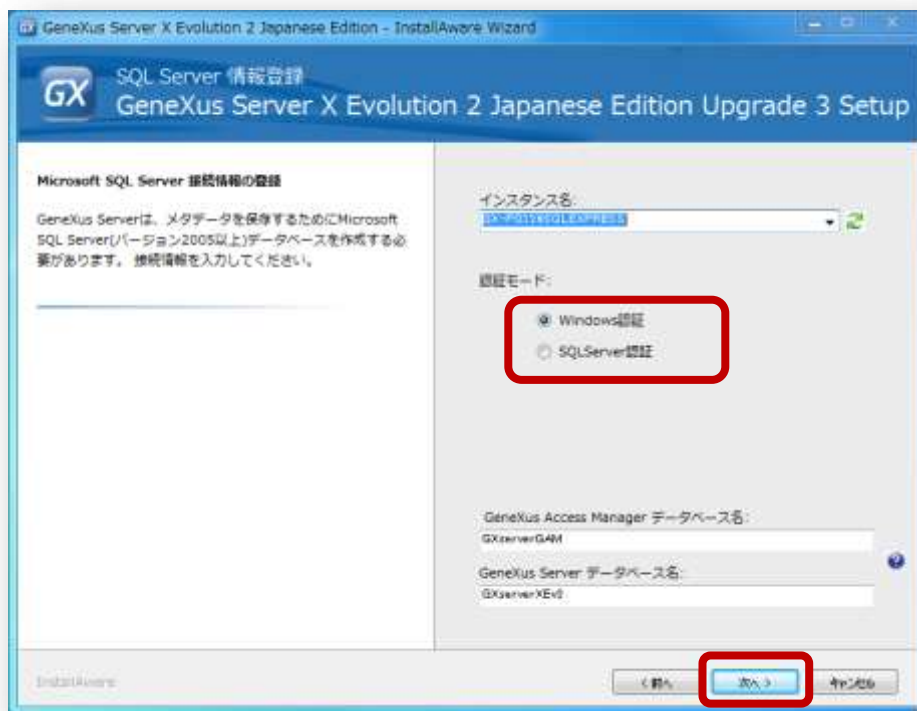
11. 「次へ」をクリックします。スタートメニューへの登録画面が表示されます。



12. 「スタートメニューグループ」フィールドにアプリケーション名を指定します。「ショートカットを作成する対象」として以下のいずれかのオプションを選択します。

- 「コンピュータに登録されている全てのユーザー」：全てのユーザーにプログラムショートカットを作成します。
- 「ログインしているユーザーのみ」：現在ログインしているユーザーにのみプログラムショートカットを作成します。

- 「次へ」をクリックします。SQL Server の情報登録画面が表示されます。



- インストールウィザードにより自動的に「インスタンス名」が検出されますが、複数ある場合には、任意のインスタンス名を選択します。
- 「Windows 認証」または「SQLServer 認証」のいずれかのオプションを選択します。「SQLServer 認証」を選択すると、「ユーザー名」と「パスワード」の入力フィールドが表示されます。適切なユーザー名とパスワードを入力してください。

重要：「GeneXus Access Manager データベース名」には「GXserverGAM」が、「GeneXus Server データベース名」には「GeneXusServerXE2」が既定値として表示されます。複数のバージョンの GeneXus Server をインストールしている場合には、これらの名称を変更する必要があります。

16. 「次へ」をクリックします。インストールウィザードにより、インストールに必要なアプリケーションが全て揃っているかどうかを検証されます。インストール可能な状態である場合、次のようなインストールの開始画面が表示されます。



17. 「次へ」をクリックします。インストールの進捗状況を示すプログレスバーが表示されます。
18. セットアップの完了画面が表示されたら、「完了」をクリックします。続けてライセンス請求を実行する場合は、「**GeneXus Server メインページを表示**」のチェックボックスをクリックしてから、「完了」をクリックします。

これで GeneXus Server X Evolution 2 のインストールは完了です。アプリケーションを使用するには、ライセンスの請求／登録が必要です。次の「[ライセンスのインストール](#)」の手順を参照してください。

参考： Evolution 1 におけるサーバー側のナレッジベースの履歴およびアクティビティを維持する場合、Migrator Utility を使って移行する必要があります。詳しくは Wiki の「Genexus Server Storage Migration Utility」を参照してください。

ライセンスのインストール

このセクションでは、GeneXus Server のライセンスの請求および登録の方法について説明します。

GeneXus Server のインストール時に「セキュアインスタンス」を有効または無効の選択により、設定画面が異なります。ここでは、それぞれの画面での設定方法について説明します。

ライセンス請求

「セキュアインスタンス」を無効にした場合（既定）

「セキュアインスタンス」のオプションを選択せずにインストールを実行した場合（「サーバーログイン時の認証設定」で「設定しません」を選択）、初めて GeneXus Server を起動すると、既定のブラウザが自動的に起動し（起動していない場合）、次のような画面が表示されます。



1. 「Request License Key」をクリックします。

参考：言語を日本語にしたい場合は、「English」の右側に表示されるボタンをクリックし、プルダウンメニューから「日本語」を選択します。画面の表示が日本語に変わります。この場合には「**ライセンスキーを請求**」をクリックします。

重要：ライセンス請求をオンラインで実行できない場合、「Site Code(サイトコード)」欄に表示されている5つのグループに分割された25文字の数字をご購入の販売店または keystmaster@genexus.jp にメールで送信してください。ライセンスキーは、ライセンス請求ユーザーのメールアドレスに送信されます。ライセンスを有効にする方法については、後述の「[ライセンス登録](#)」を参照してください。

次のようなログイン画面が表示されます。この画面で使用するユーザー名とパスワードは、事前に登録しておく必要があります。詳しくは前述の「[ユーザー登録](#)」を参照してください。

here.' Below this, there is a message: 'To find out who is your Contact Manager, contact us to agencia@getech.com.uy'. Below this, there is a message: 'Download the complete guide about this service [here](#)'. At the bottom, there is a message: 'If you have problems or you have doubts about this process, contact us to qxautokx@getech.com.uy'." data-bbox="143 188 718 500"/>

2. 「**User**」フィールドにユーザー名を入力し、「**Password**」フィールドにパスワードを入力してから、「Login」ボタンをクリックします。

重要：このログイン画面では、www.gxtechnical.com または GeneXus Japan の Web サイト内のサポートページ (<http://www.genexus.com/community-and-support-jp/support-overview?ja>) で登録したユーザーアカウントを使用する必要があります。ユーザー登録の方法については、前述の「[ユーザー登録](#)」のセクションを参照してください。

ライセンスの請求画面が表示されます。次のようなログインしたユーザーの情報が表示されます。

English [Español](#) [Português](#)

Please, check out the following information and make the appropriate changes if needed.
Then press the Confirm button at the bottom of this page.
Site keys will be sent to the e-mail account stated below once the information was validated.

Contact Information

Name:

Company:

Please, select your country:

Email to receive the keys:

Distributor:

Requested site keys

Product	Version Type	#Users Restriction	#Days
GeneXus Server	XEV2 New Authorization	1 Limited	30

Do you want to send any comments?

画面の詳細は次のとおりです：

- Contact Information
 - ◇ Name: ログインユーザー名（ライセンス請求者）
 - ◇ Company: 会社名
 - ◇ Please select your country: 国名
 - ◇ Email to receive the keys: ライセンスキーを受け取るメールアドレス
 - ◇ Distributor: 販売会社名（GeneXus Japan Inc. 以外が表示されている場合は、GeneXus Japan Inc. を選択してください）

上記のセクションは確認用です。内容を編集する必要はありません。

- Requested site keys
 - ◇ Product: 製品名
 - ◇ Version: GeneXus のバージョン名
 - ◇ **Type: 請求の種類**
 - **New Authorization** : 新規請求の場合に選択します。このオプションを選択すると、ライセンス数と有効日数を指定することができます。
 - **Change Restrictions**: 継続請求（ライセンスの延長）の場合に選択します。このオプションを選択すると、有効日数のみを変更することができます。同時にライセンス数を追加することはできません。
 - ◇ #Users: ライセンス数
 - ◇ Restriction: 制限（日本語版では未対応）
 - ◇ **#Days: ライセンスの有効日数**
- Do you want to send any comments?: 入力は不要です（弊社記入用）。

3. 「Requested site keys」の「Type」で「New Authorization」が選択されていることを確認し（新規請求の場合、「New Authorization」が自動的に選択されています）、「#Days」にライセンスの有効日数を入力します。

4. 請求内容を確認してから「Confirm」ボタンをクリックします。

これでライセンス請求は完了です。

ライセンスキーは、ライセンス請求ユーザーのメールアドレスに送信されます。ライセンスを有効にする方法については、後述の「[ライセンス登録](#)」を参照してください。

重要 : ライセンスの発行は Artech 社（ウルグアイ）で行うため、時差の都合上、最短で請求日の翌営業日となります。日本時間の金曜日に請求された場合には、翌月曜日のお渡しとなります。ライセンスの請求は日程に余裕を持って行なってください。

・ **ライセンス請求受付時間**

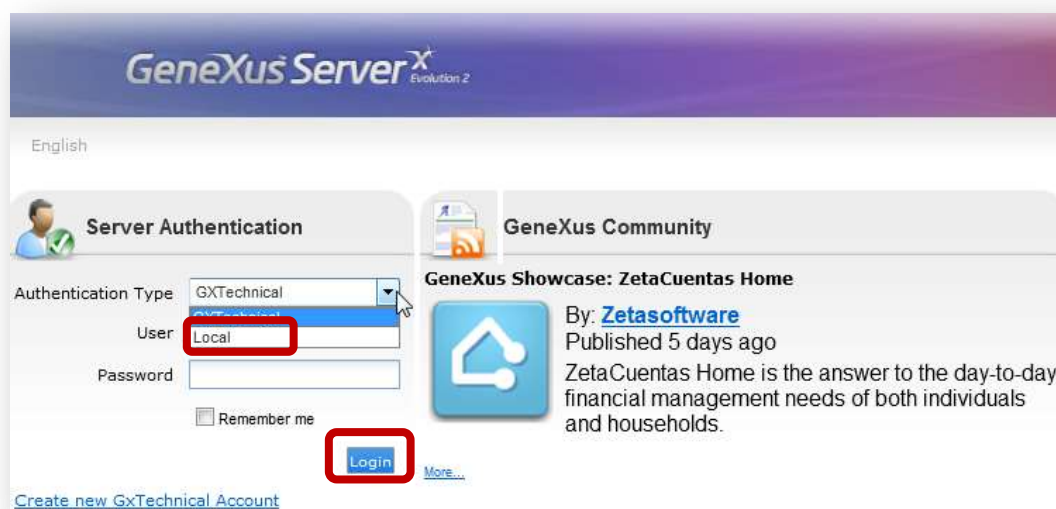
土日祝日・年末年始を除く 9:00～16:00

時間外でのご請求は翌営業日の対応となりますので、予めご了承ください。

「セキュアインスタンス」を有効にした場合

「セキュアインスタンス」のオプションを選択してインストールを実行した場合(「サーバーログイン時の認証設定」で「設定します」を選択)、初めて GeneXus Server を起動すると、既定のブラウザが自動的に起動し(起動していない場合)、次のような画面が表示されます。

1. 左側の「**Server Authentication**」エリアにある「**Authentication Type**」のプルダウンメニューから「**Local**」を選択し、「**User**」フィールドに「**admin**」と入力し、「**Password**」フィールドに「**admin123**」と入力します。



2. 「**Login**」ボタンをクリックします。

参考：言語を日本語にしたい場合は、左上の「**English**」の右側に表示されるボタンをクリックし、プルダウンメニューから「**日本語**」を選択します。画面の表示が日本語に変わります。

次のような画面が表示されます。

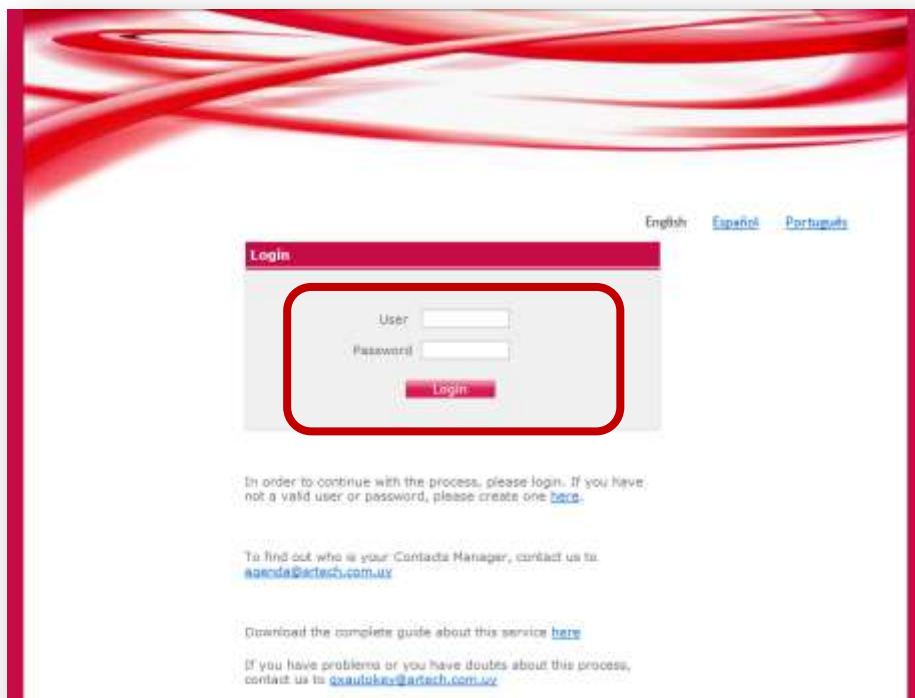


3. 「Request License Key」をクリックします。

参考：言語を日本語に変更した場合には「**ライセンスキーを請求**」をクリックします。

重要：ライセンス請求をオンラインで実行できない場合、「Site Code(サイトコード)」欄に表示されている5つのグループに分割された25文字の数字をご購入の販売店または keysmaster@genexus.jp にメールで送信してください。ライセンスキーは、ライセンス請求ユーザーのメールアドレスに送信されます。ライセンスを有効にする方法については、後述の「[ライセンス登録](#)」を参照してください。

次のようなログイン画面が表示されます。この画面で使用するユーザー名とパスワードは、事前に登録しておく必要があります。詳しくは前述の「[ユーザー登録](#)」を参照してください。



4. 「User」フィールドにユーザー名を入力し、「Password」フィールドにパスワードを入力してから、「Login」ボタンをクリックします。

重要：このログイン画面では、www.gxtechnical.com または GeneXus Japan の Web サイト内のサポートページ (<http://www.genexus.com/community-and-support-jp/support-overview?ja>) で登録したユーザーアカウントを使用する必要があります。ユーザー登録の方法については、前述の「[ユーザー登録](#)」のセクションを参照してください。

ライセンスの請求画面が表示されます。次のようなログインしたユーザーの情報が表示されます。

English [Español](#) [Português](#)

Please, check out the following information and make the appropriate changes if needed.
Then press the Confirm button at the bottom of this page.
Site keys will be sent to the e-mail account stated below once the information was validated.

Contact Information

Name:
Company:
Please, select your country:
Email to receive the keys:
Distributor:
Requested site keys

Product	Version	Type	#Users	Restriction	#Days
GeneXus Server	XEV2	New Authorization	1	Limited	30

Do you want to send any comments?

画面の詳細は次のとおりです:

- Contact Information
 - ◇ Name: ログインユーザー名 (ライセンス請求者)
 - ◇ Company: 会社名
 - ◇ Please select your country: 国名
 - ◇ Email to receive the keys: ライセンスキーを受け取るメールアドレス
 - ◇ Distributor: 販売会社名 (GeneXus Japan Inc. 以外が表示されている場合は、GeneXus Japan Inc. を選択してください)

上記のセクションは確認用です。内容を編集する必要はありません。

- Requested site keys
 - ◇ Product: 製品名
 - ◇ Version: GeneXus のバージョン名
 - ◇ **Type: 請求の種類**
 - **New Authorization** : 新規請求の場合に選択されます。このオプションでは、ライセンス数と有効日数を指定することができます。
 - **Change Restrictions**: 継続請求（ライセンスの延長）の場合に選択されます。このオプションでは、有効日数のみを変更することができます。
 - **Add License**: GeneXus Server の場合、このオプションは使用しません。
 - ◇ #Users: ライセンス数
 - ◇ Restriction: 制限（日本語版では未対応）
 - ◇ **#Days: ライセンスの有効日数**
- Do you want to send any comments?: 入力は不要です（弊社記入用）。

5. 「Requested site keys」の「Type」で「New Authorization」が選択されていることを確認し（新規請求の場合、「New Authorization」が自動的に選択されています）、「#Days」にライセンスの有効日数を入力します。

6. 請求内容を確認してから「Confirm」ボタンをクリックします。

これでライセンス請求は完了です。

ライセンスキーは、ライセンス請求ユーザーのメールアドレスに送信されます。ライセンスを有効にする方法については、後述の「[ライセンス登録](#)」を参照してください。

重要 : ライセンスの発行は Artech 社（ウルグアイ）で行うため、時差の都合上、最短で請求日の翌営業日となります。日本時間の金曜日に請求された場合には、翌月曜日のお渡しとなります。ライセンスの請求は日程に余裕を持って行なってください。

・ **ライセンス請求受付時間**

土日祝日・年末年始を除く 9:00～16:00

時間外でのご請求は翌営業日の対応となりますので、予めご了承ください。

ライセンス登録

発行されたライセンスキーは、ユーザー登録済みのメールアドレスに送信されます。メールの本文に記述されたサイトキーを次の手順に従って GeneXus Server メインページに登録します。

1. GeneXus Server メインページを開きます。

「すべてのプログラム」>「GeneXus Server X Evolution 2」>「GeneXus Server Main Page」と選択するか、<http://localhost/GeneXusServerXEv2/main.aspx> にアクセスします。

次の画面が表示されます。



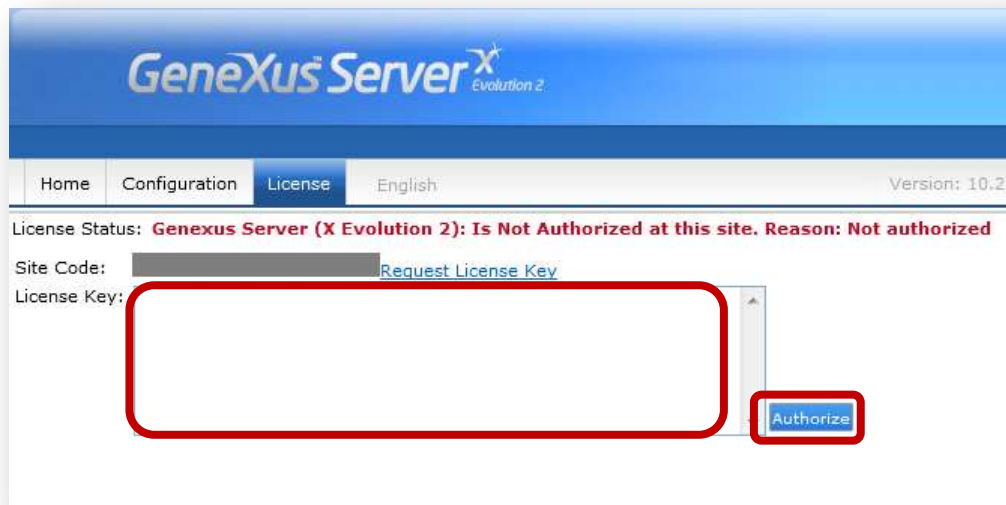
2. 左側の「Server Authentication」エリアにある「Authentication Type」のプルダウンメニューから「Local」を選択し、「User」フィールドにユーザー名を入力し、「Password」フィールドにパスワードを入力します。

参考: サーバー認証用のユーザーとパスワードを設定していない場合には「User」フィールドに「admin」と入力し、「Password」フィールドに「admin123」と入力してください。

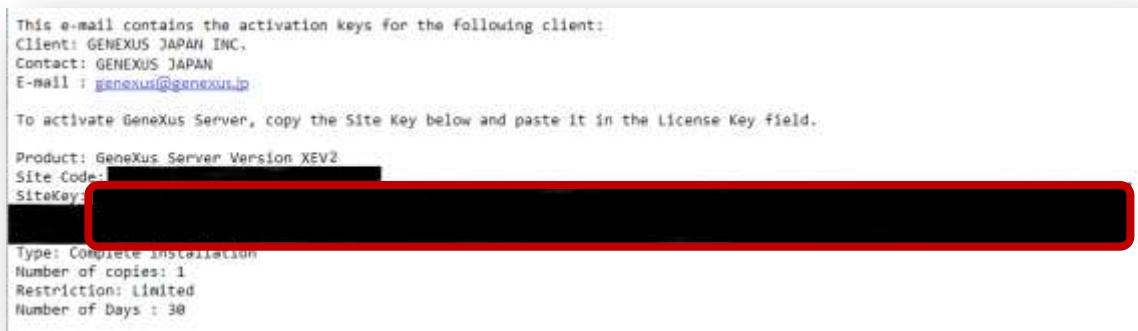
3. 「Login」ボタンをクリックします。

参考: 言語を日本語にしたい場合は、左上の「English」の右側に表示されるボタンをクリックし、プルダウンメニューから「日本語」を選択します。画面の表示が日本語に変わります。

次のような画面が表示されます。



4. ユーザー登録済みのメールアドレスに届いている「**GeneXus Activation response**」からのメールを開き、「**SiteKey:**」に表示されているキーをすべて選択し、コピーします。



重要：必ずサイトキーの文字列すべてを選択してから、コピーするようにしてください。
その際、余計な改行コードや行末の空白を含まないようにしてください。

5. 「**License Key:**」フィールドに手順 4 でコピーしたサイトキーを貼り付けます。前の手順で日本語表示に変更している場合は、フィールド名は「**ライセンスキー**」になります。
6. 「**Authorize**」ボタンをクリックします。前の手順で日本語表示に変更している場合は、ボタン名は「**オーソライズ**」になります。

次の画面のようにライセンスが有効な状態であることと、残り日数が表示されます。

前の手順で日本語表示に変更している場合は、「ライセンス状態 : GeneXus Server (X Evolution 2): 有効。残り日数 : nn (有効な数字が表示されます)」と表示されます。



これでライセンスの登録は完了です。ライセンスの有効日数が残存している場合に限り、ライセンスの継続請求が可能です。ライセンスの継続請求については、次の「[継続ライセンス請求](#)」を参照してください。

継続ライセンス請求

ライセンスの残り日数が少なくなった場合（ライセンスの有効日数が残存している状態）、残り日数を延長（ライセンスを継続）することができます。このセクションでは、ライセンスの継続請求について説明します。

重要：ライセンスの有効日数が0になると、ライセンスが失効されるため、新規にライセンスを請求しなおす必要があります。ライセンスの期限切れを防ぐため、ライセンスの継続請求は5営業日前までにお願い致します。

有効期限よりも早めに継続請求を頂いた場合は、1年間分の有効期間に早めに頂いた日数分をプラスしライセンスを発行致します。

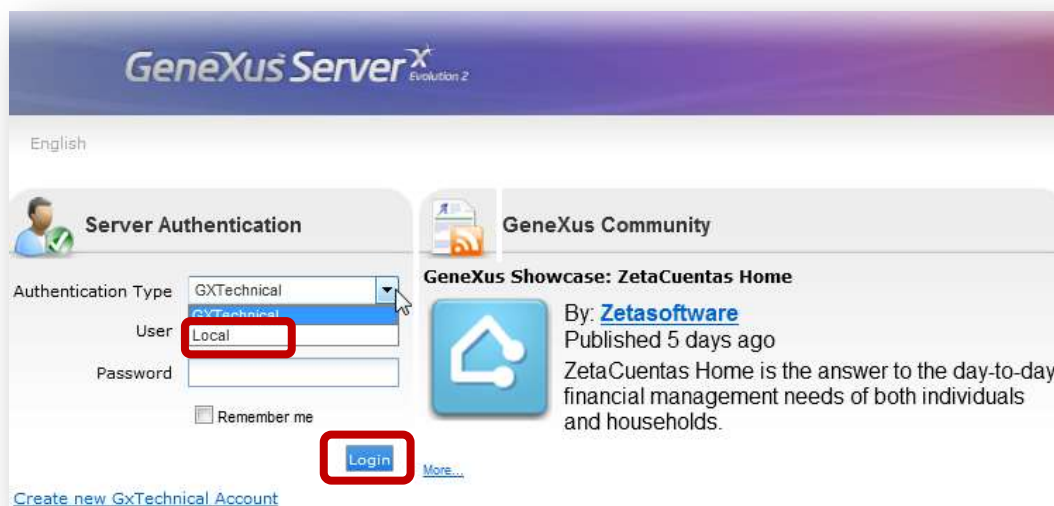
例) <2013年12月15日まで有効のライセンス>

2013年12月8日継続請求 → 2014年12月15日まで有効のライセンスとして、ライセンスを発行
1年間分+早めにご請求を頂いた日数分をプラスし、ライセンスを発行致します。

1. GeneXus Server メインページを開きます。

「すべてのプログラム」>「GeneXus Server X Evolution 2」>「GeneXus Server Main Page」
と選択するか、<http://localhost/GeneXusServer/main.aspx> にアクセスします。

次の画面が表示されます。

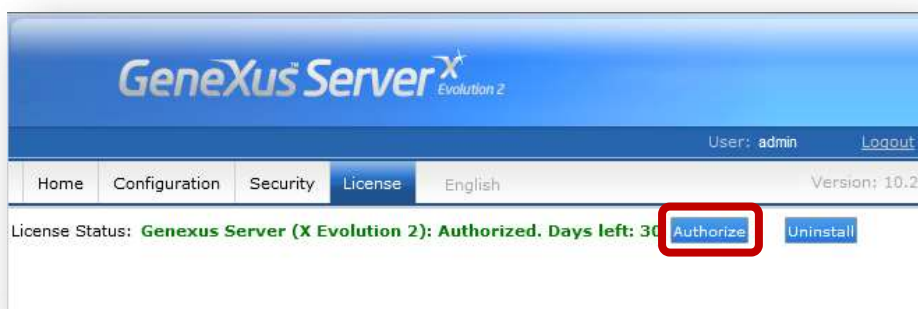


2. 左側の「**Server Authentication**」エリアにある「**Authentication Type**」のプルダウンメニューから「**Local**」を選択し、「**User**」フィールドにユーザー名を入力し、「**Password**」フィールドにパスワードを入力します。

3. 「**Login**」ボタンをクリックします。

参考：言語を日本語にしたい場合は、左上の「**English**」の右側に表示されるボタンをクリックし、プルダウンメニューから「**日本語**」を選択します。画面の表示が日本語に変わります。

次のような画面が表示されます。



4. 「**Authorize**」ボタンをクリックします。前の手順で日本語表示に変更している場合は、ボタン名は「**オーソライズ**」になります。

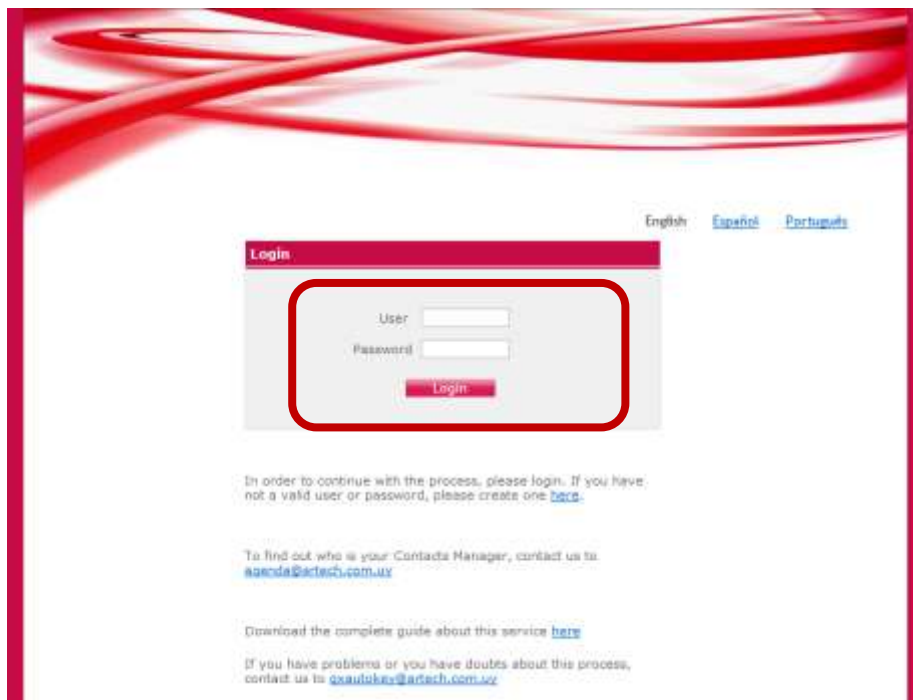
次のような画面が表示されます。



5. 「**Request License Key**」をクリックします。前の手順で日本語表示に変更している場合は、「**ライセンスキーを請求**」をクリックします。

重要： 継続ライセンス請求をオンラインで実行できない場合、「Site Code(サイトコード)」欄に表示されている5つのグループに分割された25文字の数字をご購入の販売店または keystmaster@genexus.jp にメールで送信してください。ライセンスキーは、ライセンス請求ユーザーのメールアドレスに送信されます。ライセンスを有効にする方法については、後述の「[ライセンス登録](#)」を参照してください。

次のようなログイン画面が表示されます。



6. 「User」フィールドにユーザー名を入力し、「Password」フィールドにパスワードを入力してから、「Login」ボタンをクリックします。

重要： このログイン画面では、www.gxtechnical.com または GeneXus Japan の Web サイト内のサポートページ (<http://www.genexus.com/community-and-support-jp/support-overview?ja>) で登録したユーザーアカウントを使用する必要があります。ユーザー登録の方法については、前述の「[ユーザー登録](#)」のセクションを参照してください。

ライセンスの請求画面が表示されます。次のようなログインしたユーザーの情報が表示されます。

English [Español](#) [Português](#)

Please, check out the following information and make the appropriate changes if needed.
Then press the Confirm button at the bottom of this page.
Site keys will be sent to the e-mail account stated below once the information was validated.

Contact Information

Name: GENEXUS USER
Company: GENEXUS
Please, select your country: JAPAN
Email to receive the keys: GeneXus@genexus.jp
Distributor: GENEXUS JAPAN INC.

Requested site keys

Product	Version Type	#Users Restriction	#Days
GeneXus Server	XEV1	Change Restrictions	Limited 30

Do you want to send any comments?

7. 「Requested site keys」の「#Days」フィールドに必要な日数を入力します。

参考：このフィールドに「365」と入力して継続ライセンス請求すると、ライセンス登録の当日の残存日数が 10 日の場合、これに「365」が合算された数字「375」が「残り日数」として表示されます。

8. 「Confirm」をクリックします。

これでラインセンス請求は完了です。

ライセンスキーは、ライセンス請求ユーザーのメールアドレスに送信されます。ライセンスを有効にする方法については、前述の「[ライセンス登録](#)」を参照してください。

重要：ライセンスの発行は Artech 社（ウルグアイ）で行うため、時差の都合上、最短で請求日の翌営業日となります。日本時間の金曜日に請求された場合には、翌月曜日のお渡しとなります。ライセンスの請求は日程に余裕を持って行なってください。

・ **ライセンス請求受付時間**

土日祝日・年末年始を除く 9:00～16:00

時間外でのご請求は翌営業日の対応となりますので、予めご了承ください。

ライセンスのアンインストール

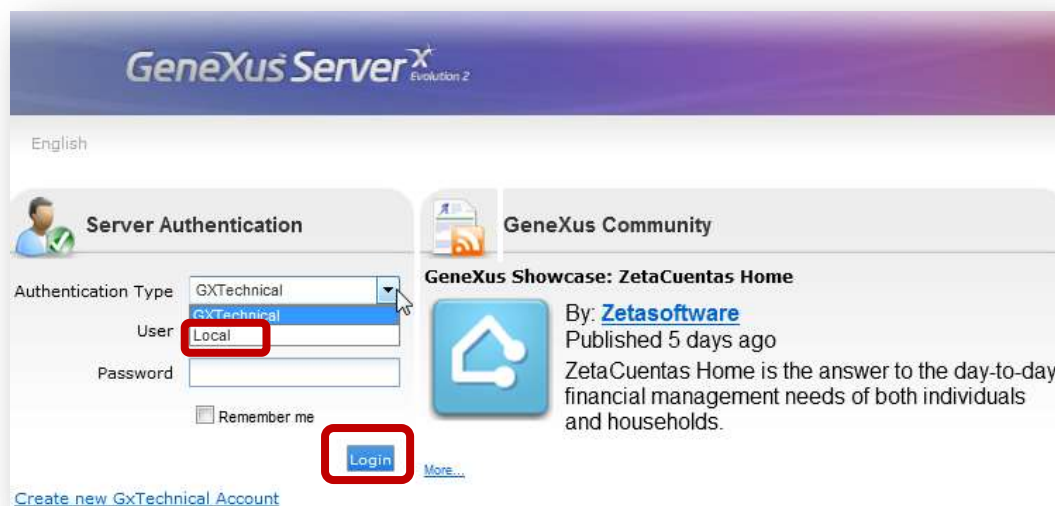
GeneXus Server X Evolution 2 をインストールしているサーバーマシンの交換が必要な場合には、事前に旧サーバーマシンからライセンスをアンインストールしておく必要があります。また、弊社までライセンスの再発行を依頼する必要があります。ライセンスの再発行手順について詳しくは、後述の「[ライセンスの再発行について](#)」を参照してください。

1. GeneXus Server メインページを開きます。

「すべてのプログラム」>「GeneXus Server X Evolution 2」>「GeneXus Server Main Page」

と選択するか、<http://localhost/GeneXusServer/main.aspx> にアクセスします。

次の画面が表示されます。



2. 左側の「Server Authentication」エリアにある「Authentication Type」のプルダウンメニューから「Local」を選択し、「User」フィールドにユーザー名を入力し、「Password」フィールドにパスワードを入力します。
3. 「Login」ボタンをクリックします。

参考：言語を日本語にしたい場合は、左上の「English」の右側に表示されるボタンをクリックし、プルダウンメニューから「日本語」を選択します。画面の表示が日本語に変わります。

次のような画面が表示されます。



4. 「Uninstall」ボタンをクリックします。前の手順で日本語表示に変更している場合は、ボタン名は「アンインストール」になります。

これでライセンスのアンインストールは完了です。

重要：一度ライセンスをアンインストールすると、サイトコードが新しく生成されるため、アンインストールする前に使用していたサイトキーは使用できなくなります。ライセンスをアンインストールする際には、十分に注意してください。

ライセンスの再発行について

GeneXus Server X Evolution 2 をインストールしているサーバーマシンの交換または故障により、ライセンスの再発行が必要な場合には、ライセンス再発行依頼書を作成し、弊社に郵送して頂く必要があります。

また、交換の場合、旧マシンにインストールされているライセンスをアンインストールしてから、ライセンスの再発行を依頼してください。詳しくは前述の「[ライセンスのアンインストール](#)」を参照してください。

弊社に「ライセンス再発行依頼書」を請求し、必要事項を明記のうえ、社判を押印してから弊社に郵送してください。再発行依頼書の確認後に弊社より連絡を差し上げますので、別途ライセンスの請求手続きを行ってください。ライセンス請求については、前述の「[ライセンス請求](#)」を参照してください。